



令和5年度 八幡市当初予算案の概要



住んでよし、訪れてよし

Smart Wellness City,
Smart Welcoming City

Yawata City

みんなで創って好きになる
健やかで心豊かに暮らせるまち



予算編成の基本的な考え方

R4現状認識

- ▶ 中期財政見通しで見込んだ収支不足は解消されたものの、義務的経費の増加と新型コロナウイルス・物価高騰などの影響により、市財政は引き続き警戒モード
→厳しい財政状況であるが、将来に課題を積み残さない取組が必要
- ▶ 第5次総合計画の着実な推進
→R4に後期基本計画を策定 ➔ R5は第5次総計の折り返しの年度であり、最終目標の達成に向け、後期基本計画を着実に前進
- ▶ 歳入減少及び歳出増加要因への対応
→少子高齢化による収入減や景気情勢が不透明な中、社会保障経費の増加等により収支面でも予断を許さない状況であり、慎重かつメリハリのきいた予算執行が不可欠
→持続可能な財政構造を構築することが継続した課題

R5予算編成の考え方

- ▶ 市長3期目総仕上げの当初予算として、八幡の未来の基礎づくりとなる予算を編成
→第5次総合計画の目指すべき将来都市像を実現するため、積極的に施策を展開
→一般会計予算規模299億4千万円（▲10.9%）
※新庁舎整備関係を除くと対前年度比 +7.0%



予算規模

第5次総合計画後期基本計画の達成に向け重点6分野に積極的に投資

- 国の地方創生関連予算などの特定財源を積極的に確保
- 新たな安心安全の拠点となる消防分署の竣工
- 厳しい状況下においても未来への視点を欠かさない予算として編成

(単位：千円、%)

➤ **一般会計 299億4千万円**

(対前年度当初比 89.1%)

➤ **特別会計 161億円**

➤ **事業会計 47億4千万円**

全会計合計 507億8千万円

会計名	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減率	
一般会計	29,940,000	33,620,000	▲ 10.9	
特別会計	休日応急診療所	27,500	26,800	2.6
	駐 車 場	8,600	7,200	19.4
	国民健康保険	7,496,500	7,682,500	▲ 2.4
	介護保険	6,333,000	6,135,500	3.2
	後期高齢者医療	2,233,700	2,133,400	4.7
	合 計	16,099,300	15,985,400	0.7
水道事業会計	2,412,444	2,340,878	3.1	
下水道事業会計	2,330,353	2,341,968	▲ 0.5	
総 計	50,782,097	54,288,246	▲ 6.5	



第5次総合計画の概要

(2018-2027)

— Smart Wellness City, Smart Welcoming City —

■ともに支え合う「共生のまち やわた」

～多様な生き方を尊重し合い、共に輝きながら生きていけるまちづくり

■子どもが輝く「未来のまち やわた」

～未来を担う子どもの成長を地域で一貫してサポート

■誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

～「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるスマートウェルネスシティの推進

■自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

～歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち」

■しなやかに発展する「活力のまち やわた」

～人・物の流れをつくる基盤の整備

■持続可能な「安心・安全のまち やわた」

～市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進

※次ページ以降に主な事業を掲載



「共生・協働のまちづくり」

多様な生き方を尊重する共生・協働社会の推進

障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定

新規

計画期間：障がい者計画 R6～11

障がい福祉計画、障がい児福祉計画 R6～8

障がい者やその家族が地域で安心して生活できるよう、施策の基本的な事項や具体的な取組、目標等を定める



生涯学習センター創立25周年記念
講演会の開催

充実

生涯学習フェスティバルのプログラムのひとつとして、文化センターで生涯学習センター創立25周年記念講演会を開催



外国人が暮らしやすい
地域社会づくり

充実

- ・日本語指導ボランティアのスキルアップ講座を実施
- ・外国人人材の登用を検討



R4のチラシ

新計画のもとでの地域福祉の推進

令和5年度からスタートする「第3次地域福祉推進計画」に基づき、自分らしく活躍できる地域社会を実現するため、コーディネーターを中心に「談話プロジェクト」の取組を推進

充実





「子どもが輝く未来のまちづくり」

未来の八幡を担う子どもの成長を地域で一貫サポート

給食費物価高騰対策助成

新規

物価高騰対策として、給食材料費の価格上昇分に対し助成を行い、保護者負担を軽減

産前産後の国民健康保険料免除

新規

国に先駆け、産前産後期間の国民健康保険料免除制度を前倒して実施

京の木香る園づくり事業

新規

公立保育所・こども園等において、府内産木材を使用した備品等を設置し、園児が木の香りや温もりを肌で感じられる環境を整備

保育所等第三子以降保育料無償化

充実

府の第3子以降保育料無償化事業の所得制限を市が独自で撤廃

保育所・小学校・中学校環境整備

新規

- ・南ヶ丘・みその保育園プール改修
- ・八幡小学校給食室整備
- ・八幡・有都・中央小学校屋内運動場空調設備等整備
- ・男山東中学校防球ネット改修 等

民間による小学校水泳指導

新規

くすのき小学校において、水泳指導の民間委託を試行実施



特別支援教育ソフトの導入

新規

特別支援学級等の児童生徒一人ひとりのニーズや特性に応じた指導の充実

地域による寺子屋事業（家庭学習応援）

さくら・中央小学校区において、地域ボランティアによる放課後学習支援や支援コーディネーターによる家庭教育支援を試行実施



新規



「『健幸』のまちづくり」

「健康」で「幸せ」を実感できるまち八幡の推進

入院傷病手当金の支給

新規

入院により就労できず、収入が減少した国民健康保険の被保険者に対し、傷病手当金を支給

対象者：給与所得者
個人事業者



若年層への人間ドック助成の拡充

充実

国民健康保険の被保険者に対する人間ドック・脳ドックの費用助成の対象を、40歳以上から新たに30歳代にも拡充



キッズ健幸アンバサダーの養成

新規

児童が高齢者等にスポーツ・健康づくりの重要性を伝える「キッズ健幸アンバサダー」を養成

→日常的なスポーツ・運動の実施による生活習慣病予防や生活の質の向上等を実現

子育て支援医療給付の拡充

充実

子育て支援医療助成制度の入院医療費助成の対象を、「15歳の年度末」から「18歳の年度末」までに拡充

第9期介護保険事業計画等の策定

計画期間：R6～8

介護保険の保険給付を円滑に実施するため、地域の現状やサービス量の見込みなどの必要な事項を定める



継続



「『観幸』のまちづくり」

自然と歴史文化が織りなす観光まちづくりの推進

石清水八幡宮等賑わい創造事業

新規

令和4年度策定の「文化観光まちづくり未来戦略」や観光庁「レガシー形成事業」の内容に基づく事業を実施

■ 新・空中茶室プロジェクト推進事業

新たな観光名所の創造に向け、「新・空中茶室」を整備するための基本構想を策定

■ 男山魅力探求発信事業

大阪・関西万博でのアピールも見据え、男山の歴史・自然体験のモニターツアー開催

松花堂美術館等の整備

新規・継続

松花堂美術館の空調設備を改修するとともに、名勝松花堂及び書院庭園の災害復旧工事や今後の活用に向けた上下水道整備の設計等を実施



観光基本計画の策定

新規

計画期間：R6～10

石清水八幡宮を活かした交流拠点づくりや茶文化発信を強化し、文化観光を経済の好循環に繋げる取組を定める

八幡西車塚古墳の保存活用

新規

国史跡「綴喜古墳群」を構成する「八幡西車塚古墳」の保存活用のため、前方後円墳の前方部の買い上げを実施

徒然草エッセイ大賞・松花堂昭乗イラストコンテスト

継続

テーマに沿ったエッセイやイラストを募集し、市民や来訪者が文化芸術に接し交流する機会を創出

エッセイ大賞：R4応募総数2,698件

イラストコンテスト：R4応募総数1,101件



「活力のまち やわた」

新たな価値の創造と土地利用の転換を推進

橋本駅周辺拠点整備事業

継続

R 6 年度中の完成を目指し、工事等を実施（R 5 年度内容：本ロータリー工事、街区道路工事 等）

整備後の新たな展開

産業振興ゾーンの都市的土地利用に向けた取組

新規

- ・ 南北連携軸道路等整備の具体化に向けた調査・検討を実施
- ・ 産業振興ゾーン周辺の治水機能向上等に向けた雨水排水基本計画の見直しを実施

石清水八幡宮駅交通結節点強化に向けた取組

新規

石清水八幡宮駅前の交通処理機能向上に向けた基礎的調査・検討を実施

農業振興の取組

新規

- ・ 担い手農家等が行う生産性・付加価値向上に向けた取組や市農業活性化協議会が行う農産物販売強化の活動を支援
- ・ 農地利用の方針や担い手育成の方向性等を定めた農業振興地域整備計画を2カ年で策定

中小企業奨学金返還支援事業

新規

従業員の奨学金返済支援を行う市内事業者を支援
対象者：府の「就労・奨学金返済一体型支援事業」の交付決定を受けた事業者

中小企業等経営改善支援金給付

新規

府が実施する「伴走支援型経営改善おうえん資金」の融資を受けた市内事業者に対し、3万円の支援金を給付



「安心・安全のまちづくり」

災害に強い「安心・安全」で持続可能なまちづくり

防災・減災対策の強化

消防力の充実強化

新規・継続

- ・府南部9消防による指令センターの共同運用に向けた設計
- ・R6.1月の開庁に向けた消防分署の建築
- ・水槽付き消防ポンプ自動車の整備
- ・消防団小型ポンプ搬送車の更新 他



トイレカーの導入

新規

大規模災害発生時における避難所等のトイレ対策として、クラウドファンディングを活用し、自走式のトイレカー1台を導入
導入時期：令和6年度

持続可能な地域社会の実現

地球温暖化対策 の推進

新規

市施設へリユース太陽光パネルを試験的に設置



自治体DXの推進

新規

行政手続き等デジタル化のための電子申請システムを導入
→住民サービス向上、事務改善による効率化

男山地域再生事業

継続

これまでの取組の成果を確認するとともに、社会情勢の変化等を踏まえ、令和6年度以降の取組や連携の在り方を検討